



プログラミング言語実験

第4回:コンピュータ大貧民 (階段出し機能の実装など)

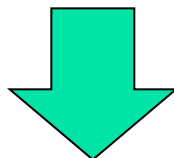


階段出し機能の実装

階段を出してみよう - アイデア

- アイデア：階段情報がのったテーブルを作る

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
0			1	1	1	1			1	1		1	1	1	



	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
0			4	3	1	1			1	1		3	1	1	

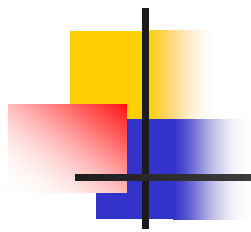
そのカードを起点に何枚の階段が出せるか



階段を出してみよう - ヒント

- my_cardsについて、行を $i=13 \sim 1$ の順に見ていき
 - my_cards[x][i]の値が1なら
 - ✓ info_table[x][i]=info_table[x][i+1]+1
 - my_cards[x][i]の値が0なら
 - ✓ info_table[x][i]=0
- 最後に、info_tableにあるすべての2を1にする

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
0			4	3	1	1			1	1		3	1	1	



より高度な機能を実装するには？



他にやるべきことは？

- 今のままだと、場が単騎(1枚)のとき、ペアを崩してでも最弱のカードを1枚出すようになっているので、それを回避するようにする(カードの温存)
- 第3回のスライド中のフローチャート内でパスしている部分を、パスしないように改良する
- 今はJokerがくるとビリ確定なので、Jokerを出せるようにする
- 革命が起きると眺めるだけなので、革命返しができるようにする